

課題名	24 紋枯病の新農薬の実用化		分類	①
	イネ紋枯病に対するモンガード粉剤及びモンカット粒剤の散布適期			
試験研究年次	63～2年(完了)			
I 目的	イネ紋枯病に対する新農薬について、使用時期、防除効果並びに薬害の有無を検討し、農薬の効率的な使用方法を明らかにし、防除対策の資料とする。			
II 試験方法	<p>1 試験場所 63年 筑紫野市大字阿志岐(一般農家圃場) 2年 筑紫野市大字吉木 福岡農総試験場内圃場</p> <p>2 耕種概要 品種 63年は「ツクシホマレ」、2年は「日本晴」 移植期 6月20日 稚苗機械移植 出穂期 63年は9月5日、2年は8月22日 施肥及び管理は一般慣行による</p> <p>3 区制・面積 63年 1区 165～190㎡の1区制、2年 1区 30～49.5㎡の1区制</p> <p>4 試験区の構成</p>			
	供試薬剤	成分量(%)	散布時期(月日)	
63年	①モンカット粒剤	フルトラニル 7.0%	出穂20日前(8月16日)	
	②" "	" "	10日前(8月26日)	
	③モンガード粉剤	ジクロメジソ 1.2%	出穂20日前(8月16日)	
	④" "	" "	12日前(8月24日)	
	⑤" "	" "	6日前(8月30日)	
	(対照)			
	⑥モンカット粉剤	フルトラニル 1.5%	出穂12日前(8月24日)	
	⑦バリダシン粉剤	バリダシンA 0.3%	" (")	
⑧無散布	-	-		
2年	①モンカット粒剤	フルトラニル 7.0%	出穂11日前(8月10日)	
	②" "	" "	3日前(8月18日)	
	(対照)			
	③モンカット粉剤	フルトラニル 1.5%	出穂3日前(8月18日)	
	④" "	" "	3日後(8月24日)	
⑤無散布	-	-		
	注) 供試薬剤は4kg/10aを粉剤はA17ダスターで、粒剤は手まきで散布した。			
5 調査方法	<p>発病調査は、63年は8月16日、8月30日、9月26日に、2年は8月18日、8月24日、9月14日に、1区5カ所×20株の計100株について発病株率を調査した。発病株については最上位病斑高を調査し、羽柴氏法により被害度を算出した。</p> <p>病斑高率 = 最上位病斑高(cm) × 100 / 草丈(cm) 発病株被害度 = 1.62 × 病斑高率 - 32.4 全体の被害度 = (1.62 × 病斑高率 - 32.4) × 発病株率 / 100</p>			
III 主要成果の概要	<p>1 モンカット粒剤は、出穂10日前における4kg/10a散布の効果が高い。しかし出穂3日前散布では効果が劣る。</p> <p>2 モンガード粉剤は、出穂20日～6日前4kg/10a散布が有効である。</p> <p>3 供試薬剤はいずれの時期に散布しても薬害は認められない。</p>			

IV 主要成果の具体的データ

第1表 紋枯病に対する薬剤防除効果（63年）

	発病株率 (%)				全体の被害度				防除価
	8/16	8/23	8/30	9/26	8/16	8/23	8/30	9/26	9/26
①	1	2	-	33	0.09	0.13	-	8.02	44
②	-	10	-	27	-	1.70	-	5.73	60
③	5	4	-	24	0.11	0.71	-	3.58	75
④	-	3	-	25	-	0.37	-	3.93	72
⑤	-	5	8	18	-	1.17	0.69	4.75	67
(対照)									
⑥	-	20	-	33	-	4.60	-	6.58	54
⑦	-	33	-	36	-	6.15	-	6.01	58
⑧	13	20	27	56	2.32	3.69	3.67	14.27	

注) 被害度は羽柴氏法により下記のように算出した。
 病斑高率 = 最上位病斑高 (cm) × 100 / 草丈 (cm)
 発病株被害度 = 1.62 × 病斑高率 - 32.4
 全体の被害度 = (1.62 × 病斑高率 - 32.4) × 発病株率 / 100

第2表 紋枯病に対する薬剤効果（2年）

	発病株率 (%)				全体の被害度				防除価
	8/10	8/18	8/24	9/14	8/10	8/18	8/24	9/14	9/14
①	40	16	30	16	2.26	1.59	3.28	2.37	94
②	25	10	24	33	0.69	1.15	3.23	6.23	84
(対照)									
③	-	16	26	13	-	1.49	2.34	1.92	95
④	-	27	41	28	-	2.99	4.66	5.75	85
⑤	26	37	42	66	0.58	3.99	8.16	38.38	

V 成果の評価と取扱上の留意点

- 1 本県の2年度主要農作物病虫害防除基準に、イネ紋枯病防除薬剤の指導資料に記載した。
- 2 モンカット粒剤散布後は、4日間程度は湛水状態を保つ。

VI 今後の研究上の問題点

品種及び作期が異なる場合における、イネ紋枯病の防除薬剤効果の検討

VII 資料名

- 1 63年度 福岡県農業総合試験場経営環境研究所 普通作物病虫害関係試験成績書
- 2 2年度 福岡県農業総合試験場生産環境研究所 普通作物病虫害関係試験成績書